

# 学校図書館図書選定委員会の運営モデル

～教職員の活用しやすい学校図書館を目指して～

## 日高川町立中津小学校・中津中学校

### 1 取組の概要

本町では、平成 29 年度に学校司書が配置され、学校図書館の環境改善や読書活動推進を進めてきた。昨今、児童生徒の批判的な思考の育成のため、学校図書館の「学習センター」「情報センター」としての役割の強化について研究を進めている。

小中学校 14 校を 2 名の学校司書で対応する日高川町（中学校組合を含む）では、教職員が授業等において活用しやすい学校図書館の環境を構築していく必要がある。そこで、学習・情報センターとしての学校図書館の役割を強化するため、学校図書館図書選定委員会を運用した学校図書館の環境改善の運営モデルを研究した。



### 2 学校図書館図書選定委員会による学校図書館環境改善の運営モデル

中津小・中学校の取組より、右記の運営モデルを作成した。

学校図書選定委員会の委員は全職員で、委員長を校長が務める。基本的に、学校図書館図書を選書する際は学校図書館選定委員会にて、複数人で選書会を開催する。

担当一人で決めるのではなく、職員全員が関わる環境を作ることが大切である。

学校図書館選定委員会運営  
～日高川町モデル～

実行性

実効性

- 学校図書選定委員会の年間活動計画（学校）
- 学校図書館活用計画（各担当）
- 学校図書館の調査（指標）
- 司書と連携した資料準備
- 実際に本に触れる選書会

継続性

#### 学校図書選定委員会の年間活動計画 学校

時期	内容
4月下旬	(はじめ)学校図書選定委員会
5月中旬	(取組)学校図書選定委員会 【中間検証】
6月中旬	
8月中旬	
10月下旬	検証

学校全体で目標を計画

計画的な取組

検証

#### (1) 学校図書館図書選定委員会の年間活動計画（学校）

年度初めに、校長を中心に学校図書館図書選定委員会を組織し、選書の目的と年間の活動計画の情報を共有する。

現在、本町では、「文学」が多いため、「授業に活用できる書籍の導入」をテーマとしている。

#### (2) 学校図書館活用計画（各担当）

学級担任や教科担任については、年度当初に、授業の中で学校図書館の活用が必要な単元を計画書にまとめる。

また、この計画書をもとに学校司書が、図書の入替えや、授業で活用する図書レファレンス等を行う。

#### 「学校図書館活用計画」 担当

- ・ 計画的な活用
- ・ 評価、改善
- ・ 司書との連携
- ・ 継続した取組

### (3) 学校図書館の調査の実施（指標）

学校図書館活用計画をもとに、選書会に必要な書籍やテーマ等の要望を教職員へ調査し、学校司書へ伝える。

また、児童生徒の要望の高い本・テーマの調査も行い、選書会の参考資料とする。これらの調査結果は、次年度の学校図書館図書選定委員会の目標設定の根拠資料となる。



### 学校図書館の調査により・・・

- 学校図書の要望 → ニーズ把握・選書会の資料
- 学校図書活用状況 → 環境改善等
- 次年度に向けて → 検証の根拠資料
- 学校司書の選書の参考資料



### (4) 学校司書と連携した選書会の資料準備

学校司書は、学校から依頼のあった書籍やテーマに合った書籍を町公民館図書室や県立図書館にて準備する。

既に学校にある場合は教職員へ情報提供をする。

### (5) 実際に本に触れる選書会

学校司書がレファレンスした資料を実際に手に取り、児童生徒の実態や授業のねらいに合っているかを確認し、選書していく。

## 3 学校図書館図書の選定基準・廃棄基準

中津中学校にて、学校図書館図書の選定基準と廃棄基準を作成した。学校の環境改善を行うためには長い年月が必要となる。人の入れ替わりのある学校において、基準をはっきりさせておく必要がある。

中津小学校で作成された、基準をもとに日高川町内の学校図書館の選定基準・廃棄基準とした。

### 学校図書館図書選定基準・廃棄基準

日高川町立中津中学校 学校図書館図書選定基準	
2022年(12月7日制定) 日高川町立中津中学校	
<p>学校図書館には、「教育課程の展開に資する」「児童生徒の「情報リテラシー」育成に資する」の目的に沿った適切な図書種類の選を求め、量を確認して、学校図書館では、利用者の立場に合った選書の更新を行う必要がある。また、蔵書の管理には一貫性のある選書を行う必要がある。この基準は、学校図書館が本来の目的を達成するために、全額学校図書費に準じて、日高川町立中津中学校が定めたものである。</p> <p><b>1 一般基準</b></p> <p>内容</p> <p>学校における教育課程の展開に資する、児童生徒の「情報リテラシー」育成に資する。</p> <p>(1) 知識を深めるための図書</p> <p>(2) 新しい知識や方法が提供されている。</p>	<p>学校図書館には、「教育課程の展開に資する」「児童生徒の「情報リテラシー」育成に資する」の目的に沿った適切な図書種類の選を求め、量を確認して、学校図書館では、利用者の立場に合った選書の更新を行う必要がある。また、蔵書の管理には一貫性のある選書を行う必要がある。この基準は、学校図書館が本来の目的を達成するために、全額学校図書費に準じて、日高川町立中津中学校が定めたものである。</p> <p><b>1 一般基準</b></p> <p>内容</p> <p>学校における教育課程の展開に資する、児童生徒の「情報リテラシー」育成に資する。</p> <p>(1) 知識を深めるための図書</p> <p>(2) 新しい知識や方法が提供されている。</p>

同じ基準で  
選定・廃棄

## 4 成果と課題

左記の表の通り、本年度は、「授業で活用できる書籍の導入」をテーマとしていた。また、全国学校図書館の学校図書メディア基準と照らし合わせると、「文学」の占める割合が高かった。今年度、中津小・中学校にて、学校図書館図書選定委員会を運営し、「目的をもった選書会」を実施したことで、「文学」の割合が下がり、その他の分類の書籍の割合が上昇した。

また、計画を立てたことで学校図書館を計画的に活用し、学校司書との連携も多く見られた。

今後は、「学校図書館図書選定委員会年間活動計画」「学校図書館活用計画」をもとに『実行性』のある取組を、年末の調査結果等の根拠資料をもとに取組を見直し改善しながら『実効性』を高め、そして、学校図書館の環境改善、活用の研究等を長期にわたり継続して取り組む『継続性』をもって取り組むことが必要不可欠である。

## 成果と課題

### ● 中津小学校

	0総記	1哲学	2歴史	3社会 科学	4自然 科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学	未分 類	合計
R4-4月	0.8	0.4	4.6	4.2	8.1	2.7	1.2	6.9	2.7	25.9	42.6	100
R4-8月	1.9	1.3	7.8	7.3	13.2	5.2	2.4	11.5	3.9	44.8	0	100
R5-1月	2.6	1.7	8.0	8.0	13.5	5.6	2.6	10.9	4.1	42.3	0	100

### ● 中津中学校

	0総記	1哲学	2歴史	3社会 科学	4自然 科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学	合計
R4-6月	1.2	3.1	10.4	10.8	7.5	4.7	1.4	13.2	7.2	40.6	100
R4-12月	1.9	3.7	10.3	10.9	8.9	4.5	1.7	12.4	6.9	38.9	100